

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成26年度第1回 理事会 議事録

〔開催日時〕：平成26年3月22日（土曜日）14：00-16：00

〔開催場所〕：パレスサイドビル9F マイナビルーム9F-E

〔出席した理事〕：持田譲治、中村博亮、川上守、徳橋泰明、小森博達、紺野慎一、加藤真介、川上紀明、橋本友幸、平林茂、米和徳

〔出席した監事〕：小西宏昭

〔議事の経過の要領及びその結果〕

持田譲治理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

事前決議事項

1 第1号議案 1-2月の新入会・退会について

メンバーシップコンプライアンス委員会より事前に審議した件につき、掲載された全員の入退会を承認した。

2 第2号議案 トラベリングフェローの件

国際委員会より事前に審議した件につき、掲載されたアジアトラベリングフェロー選考結果、イングリッシュポスターアワードの選考結果、アジアトラベリングフェローの平成26年度訪問先について承認した。

3 第3号議案 大正アワードの件

大正富山アワードの審査結果が示され、2名の受賞者が承認された。

審議・決議事項

4 第4号議案 名誉会員の決定、役員候補について

持田理事長から今年度名誉会員として理事会で推薦する先生として以下の案が提示された。

会長経験者：米延策雄先生、谷 俊一先生、野原 裕先生、永田見生先生

その他：中村耕三先生（理事経験者）

一同検討の結果、承認した。

理事会としては、新役員の候補者として17名を評議員会に提案することを承認した。

5 第5号議案 専門医試験用問題集作成の件

中村副理事長が、専門医試験用問題集作成について下記の報告をした。

- ・専門医試験用問題の回収率は、現在81%となった。
- ・現在波呂委員長を中心に試験問題作成委員会を作成中である。
- ・試験問題についての問題集を作成する予定である。

6 第6号議案 平成25年度決算報告、平成26年度予算案の件

徳橋理事が、平成25年度決算報告一式について、説明を行った。

さらに、平成26年度予算案について、説明した。

一同検討の結果、承認した。予算については、大枠を承認し、微細な部分は徳橋理事が修正することになった。

6 第6号議案 平成25年度庶務報告の件

小森理事が、平成25年度庶務報告資料を提示し、全員で確認した。

加藤真介理事より、平成26年度事業計画の15番に「脊椎脊髄病用語集」とあるが「脊椎脊髄病用語事典」であるとの指摘があり、小森理事が修正することになった。

7 第7号議案 消費増税に対する対応(雑誌)について

小森理事が、JSRの販売(販売希望の図書館や会員等へ)価格について、本体2000円+税の外税表記を提案した。一同検討の結果、小森理事の案を承認した。

8 第8号議案 評議員選考委員会の結果の件

小森理事が、Eメール上で事前に行った評議員選考委員会で、推薦評議員の選考について、過半数より承認の回答を得たため、このたびは申請のあったすべての新規推薦評議員および継続の推薦評議員が承認されたことを報告した。一同検討の結果、承認した。

9 第9号議案 科学技術振興機構(JST)より JSRの抄録を文献データベースに掲載することの可否について

持田理事長が、専門家も含めて意見をいただき検討したほうがよいため、4月の理事会で再検討したいと発言し、今回はペンディングとなった。

事前審議・報告事項

E理事会事前審議結果が、資料として示された。

審議・報告事項

1 脊椎脊髄外科専門医制度経過報告

中村副理事長が、前回の理事会報告後の脊椎脊髄外科専門医制度経過について報告した。

専門性認定機構の社員総会前の意見交換会において、設立直後に各領域代表者などが社員になることが決定したと説明した。

2 HPの変更状況について

小森理事が、HPの改修状況について説明した。

3 会長選挙について

小森理事が、京都で4月に行われる学会において、会長選挙(平成29年度会長)が行われることになったと報告した。

4 評議員会・総会の式次第の件

小森理事が、作成中の評議員会・総会式次第を提示した。

5 脊椎脊髄病用語事典改訂第5版について

加藤真介理事が、前回理事会でも提示した用語委員会の案を示し全員から内諾を得たことを報告した。

6 指導医新規申請時の評価方法について

橋本理事が、事前のEメール上の理事会でも審議があった指導医新規申請時の評価方法について、指導医の審査に「申請者が指名する指導医1名にも評価を受ける」などの一文が出ている第3案を提案し、一同検討し、了解した。

7 COI マネージメント研修セミナーの件

平林理事が、2月に行われたCOIセミナーで、日本医学会が規定する「医学研究のCOI マネージメントに関するガイドライン」が配布されたとして、内容を要約し説明した。

8 国際委員会の今後の活動について

松山理事が欠席のため小森理事が、トラベリングフェローの訪問先について、アジアのみでなく欧州も加えてはどうかと提案した。4月の理事会の際に再検討することになった。

その他

1 学術集会プログラム検討委員会のメール審議結果

川上守理事が、学術集会プログラム検討委員会のメール審議の結果、意見のあった3名ともが「シンポジウム・パネルディスカッション・主題などとして公募する。」との意見であったと報告した。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成 26 年 3 月 22 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田 讓 治

監 事 小 西 宏 昭

監 事 佐 藤 哲 朗